

みどり豊かな潤いのある環境づくりを目指して

造園 いばらき

題字：橋本 昌 茨城県知事



平成 20 年度秋季都市緑化祭でつくりあげたミニガーデンを囲んで記念撮影。緑は人々のコミュニケーションと笑顔を生み出します

おもな内容

第 1 回「梅と緑」のセミナーを開催 茨城県主催、建設技術公社、茨造協が共催	… 2
黄綬褒章を受章 永島生雄氏祝う 多年にわたり造園工事に従事、発展に尽力	… 6
国土交通大臣賞受賞 猪瀬氏祝賀会開催 造園工事業の進行に尽力	… 7
平成 20 年度秋季都市緑化祭開催 各公園で開催 楽しみながら緑化を推進	… 8
茨造協 災害対策協定を締結 災害時における対策業務の応援協力に関する協定調印式	… 10
環境委員会が堆肥化ヤードを制作 桜川中学校での腐葉土づくりに県西支部会員が協力	… 10
屋久島の巨大スギを訪ねる 茨造協 県西支部 視察研修	… 11
技能五輪全国大会 茨造協から参加 岩崎・日向さん、菊地・菱沼さんの 2 ペア健闘	… 12
編集後記 習って慣れて、正しい知識と確かな技術、豊かな経験を生かそう	… 15

Vol. **36**

2008 年(平成 20 年)
12 月 26 日発行



社団法人 茨城県造園建設業協会

〒 310-0804 水戸市白梅 2-4-6 Tel.029-226-5691 Fax.029-226-5692

E-mail ibazouky@topaz.ocn.ne.jp Http://www.ibarakiken.or.jp/ibazoukyo/



第1回「梅と緑」のセミナーを開催

茨城県主催 (財)茨城県建設技術公社、(社)茨城県造園建設業協会が共催

都市緑化月間に合わせて、第1回「梅と緑」のセミナーが、偕楽園で学ぼう、～梅を知り、公園樹を知れば偕楽園の楽しさは倍増します。偕楽園をもっと楽しむために！～をサブタイトルに、10月27日、午後1時から4時まで、水戸市笠原町の茨城県市町村会館1階講堂で開かれた。

セミナーは、緑化の推進などを図るため、今後継続的に開催を予定しているもので、茨城県が主催、(財)茨城県建設技術公社と茨造協が共催して実施したもの。当日は、緑化関係者や市民など、会場を一杯にする人々が訪れ、約250人が参加した。

会場では、冒頭、主催者を代表して村田正文茨城県土木部都市局長が、「偕楽園は、茨城県を代表する庭園であり、広く全国に知られている。また、偕楽園や周辺一体の史跡なども観光地として多くの人が訪れる。中でも「梅園」が有名だが、サクラやハギなど、ウメだけでなく、さまざまな植物に彩られ、一年中を

通して、魅力的な場所である。今日のセミナーが、偕楽園の新たな魅力を伝える機会となり、広く緑の素晴らしさを学ぶきっかけになることを期待したい」との旨を語り、引き続き、2つの講演と、2つの事例発表が行われた。



主催者を代表してあいさつする
村田正文茨城県土木部都市局長

ウメを知る

1つ目の講演は、梅と緑の相談員で、元日本樹木医学会会長の近藤秀明氏が「ウメを知る」をテーマに開催。近藤氏は、生物、特にキノコの栽培に興味を持って



講演する近藤秀明氏

植物を学び、森林総合研究所に入り、東京の目黒やつくばなどを中心に研究などを行ってきたが、植物と人間の関係は非常に興味深く、ヨーロッパの人々はブナを母なる木とし

て大切にし、カナダではシュガーメイプル、アメリカでは、西部を開拓する中で肥沃な土地を見分けるにも役立ったハルニレなど、地域の環境や社会背景によって、どのような植物をシンボリックに捉えているかがわかる。

最近の日本ではどうかというと、学生からアンケートをとったところ、針葉樹としてマツ、常緑広葉樹ではツバキ、モクセイ、落葉広葉樹ではサクラ、カエデ、ウメという結果になった。

本日、テーマとしているウメは、残念ながら3番目となったが、樹木を観賞する上でポイントとなる「花」「香」「樹姿」の3拍子、そして「実」の4拍子が揃っているのは、ウメだけであり、万葉集ではウメが多く詠まれ、古今和歌集でサクラが多く詠まれるようになり、京都御所紫宸殿の左近にも古くはウメが植えられていたが、947年頃にサクラに代わり、「左近の桜、右近の橘」も以前は「左近の梅」であり、日本人には奈良時代以前に中国から薬木として渡来して以来馴染みが深く、樹齢が確実に想定されるものとしては、伊達政宗由来の松島・瑞巖寺の臥竜梅が樹齢約400年と最も古く、そのほか、名所では、偕楽園をはじめ、菅原道真由来の太宰府天満宮、湯島天神などがあり、広く日本人に親しまれている——など、ウメについての植物学上の位置づけや歴史、文化に触れた。

そして、偕楽園のウメについては、1842年（天保13年）の開園当初は梅林だけで10ha、1万本以上あったといわれているが、現在は3.3haに100品種、3000本が、自然樹形で育てられ、史跡名勝となっている。

しかし、岡山の後楽園、金沢の兼六園は、史跡名称

よりランクの高い「特別名勝」となっており、高松の栗林公園も「特別名勝」であることから、非常に残念なことと語った。

また、偕楽園の中でも特に名木として選ばれたものがあり、1933年の茨城県博物同好会会員と東京梅の会会員が、偕楽園と弘道館のウメの品種を調査、標本や名札付けを実施するとともに、調査中に弘道館孔子廟裏で特徴のある個体を見つけ「烈公梅」と名付けたのをはじめ、両公園のウメ40本を名木として選び、さらに、各公園3本、①月影（好文亭玄関前）②柳川枝垂（偕楽園芝生・別名朝鮮梅）③白難波（吐玉泉北側）④虎の尾（弘道館）⑤烈公梅⑥江南所無（弘道館）の「公園の6名木」が選ばれたが、選定当時の個体はほとんど枯死してしまっていると述べた。

さらに、近藤氏は、ウメの生育上の特徴や病害などについて説明。相談所への相談内容として、県の内外から、植栽方法とその後の管理、特に剪定の時期と方法、農薬取締法と食品衛生法を踏まえた病害虫の防除等の相談が多いなど、相談員ならではの経験を交えた講演を行った。

公園樹の剪定管理について

2つ目の講演は、茨造協会員で樹木医の中村澄夫氏が「公園樹の剪定管理について」をテーマに実施。

中村氏は、空気の浄化やCO₂の削減、気温の調節などの環境面から、憩いの場として人々に安らぎを与え、また、学びの場として活用されるなどの心理面、さらに災害からの安全確保面など、公園樹の果たしている役割は大きい。しかし、枯れ枝の落下や腐朽など



講演する中村澄夫氏

による倒伏などにより、時に人々に危害を加える危険性もあり、より適切な管理技法を検討して、自然と人間の合作とも言える大切な緑文化の構築を図りたいが、それ以前に、その

背景である公園樹のある“公園”のあり方をきちんと理解していないと、適切な管理は出来ないとし、まず、多様な公園の分類と、庭園や公園の歴史的特長を概説。自然公園と都市公園、さらに、国営公園から街区公園、墓苑など、都市公園の仔細や巨石等を神の依代とした上古から、貴族、寺院、武士、大名、西洋文化の影響を受けた庭園、そして、戦後・現代に至るまで、庭園様式と時代背景などを解説。現在の公園も、古来からの庭園文化をどこかに内在しながら存在しており、そうした心が公園には宿っているとした。

その後、公園を守り育てるための樹木管理についての説明となり、公園に使われている500～600の植物を把握、特性を知っていないと、適切な管理はできず、合わせて、植物が植えられている場所についての知識も必要とし、その上で、樹木の健康を計る上で、①見る②観る③視る④診る⑤看るの5つの心が求められ、調査手法は、葉→小枝→枝→幹→根の順で、樹勢回復への手順は、根→幹→枝→葉となるとした。

剪定については、基本的な考え方として、観賞、生育、実用、果実収穫、移植など生理的調整など、植栽樹木の役割を知るのが第一。そして、木を直す「植木」の伝統技法を知り、枯枝や徒長枝（とび枝）、ひこばえ（やご）、からみ枝（交差枝）、幹吹き（胴吹き）、逆さ枝、立ち枝、懷枝、車枝、門枝、並行枝といった切除すべき枝（忌み枝）の剪定技法。縮姿のための剪定（整姿剪定、整枝剪定）としての枝おろしや枝すかし、切り戻し（切り返し、切り詰め）さらに、剪定の時期と、剪定の程度を、針葉樹、常緑広葉樹、落葉樹など、そ

れぞれの樹種ごとに適切な時期に行うことが肝要であるとした。

そして、花木については、さらに4つの開花習性があり、①今年の新枝に花芽をつけ今年のうちに開花②今年伸長した枝に花芽をつけて越冬し、翌年の春にそのまま開花③今年伸びた短枝に花芽が付くが、今年充実した長枝、中枝にも花芽をつけ、翌年その花芽がわずかに伸長し、新しい短枝をつくりその先に開花④春に伸びた枝に花芽を付け越冬し、翌年の春、新梢を伸ばして開花——ごとに適宜剪定を行う必要があるとした。

さらに講演では、刈り込み剪定やマツのみどり摘み、もみあげなどに触れ、伝わることわざを披露。

作園（作庭）の仕事の取り組み方は管理でも同様で、「前日より巷の俗事を離れ、用具の準備を怠るな」「三命の従——石に命あり、樹に命あり、采配者の命にそむくべからず（作者の意向を汲む）」。「掃除の心得として、「上手は仕事七部に片付け三部、土の乱れは下手の職方」「秋の深詰め木を枯らす」「弱ったマツには酒をかけろ（飲ませろ）」「マツは干して植えろ＝冬季の土極め（棒突き植え）」を紹介。

また、「桜切る〇〇 梅切らぬ〇〇」というが、これからはこれに加え、「鵜呑みにする者もっと〇〇」を広めて欲しいとし、「習うより慣れろ」は、今の時代に追いつかない。「習って慣れろ」が重要。そして、今日の課題として、①厳しい環境（自然、経済）②技術者不足③労働力不足④病虫害の発生⑤特定樹木の繁殖に対する早期の整理（シンジュ、ヌルデ、ニセアカ



多くの参加者でにぎわった会場のようす

シア、モウソウチク）を提示。新しい取り組みとして、「造園施工管理技士」「造園技能士」「樹木医」「基幹技能士」「植栽基盤診断士」「街路樹剪定士」「ビオトープ管理士」など、資格制度の有効活用や団体による自己努力が求められているとした。

最後に、公園管理の今後の推進として、①公園は緑文化の伝統的遺産②公園は安全そして安心を確保できる場③公園は未来へ引き継ぐ共有財産であるとし、これらの認識の下に、“正しい知識”、“確かな技術”、“豊かな経験”で、官・学・産の協働による推進が求められるとした。

偕楽園の概要と公園管理



報告する浅川一郎氏



報告する片桐保氏



偕楽園からの景観に配慮して配置され、意匠もいばらきの素朴でおおらかな伝統様式を現代に表現した偕楽園公園センターには、梅と緑の相談所やミニ図書館や展示室も設置されている

講演の後の事例発表では、浅川一郎(財)茨城県建設技術公社副参事が「偕楽園紹介」、片桐保水戸土木事務所次長兼偕楽園公園課長が「偕楽園の公園管理について」それぞれ報告を行い、管理において、公園のフェンスが切られたり、トイレの落書きなど器物損壊、自転車、さらには自動車の放

置、ホームレスの方々への対応や苦情、犬の散歩におけるマナーなど、公園を利用する上でのルールが守られていない現状に苦慮しているが、賑わいのある、みんなが楽しんでいただける公園を目指している。今後ともご支援をいただきたいと述べた。

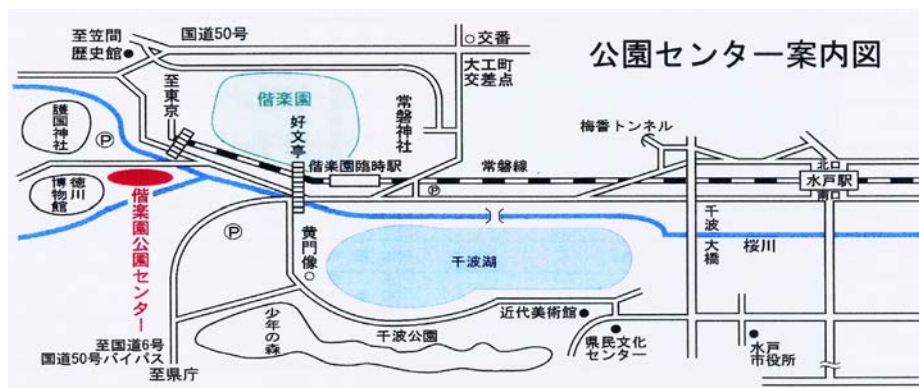


あいさつする立藏義明氏



四季を通じて、さまざまな植物の変化なども十分に楽しむことができる水戸・偕楽園公園

セミナーは最後に、立藏義明茨城県土木部都市局公園街路課長が閉会のあいさつを行い、盛況のうちに散会となった。



祝 永島生雄氏 黄綬褒章受章祝賀会



黄綬褒章を受章 永島生雄氏祝う

平成 20 年春の褒章で、茨造協前会長の永島生雄氏（㈱石翠園代表取締役社長、水戸市）が、黄綬褒章を受章された。

永島氏は、多年にわたる造園工事業に従事し、その発展に尽力した功績が認められたもの。

これを祝し、「永島生雄氏黄綬褒章受章祝賀会」が



お祝いの言葉を述べる橋本
昌茨城県知事⑤と廣瀬一三
茨造協会長⑥

7 月 22 日、水戸市の水戸プラザホテルで開催され、橋本昌茨城県知事をはじめ、多くの関係者が永島氏の受章をお祝いした。

永島氏は、現在も茨造協の相談役を務められており、茨造協への指導をはじめ、ますますのご活躍が期待される。



永島生雄ご夫妻を
囲んでの記念撮影

猪瀬清次氏 国土交通大臣賞受賞 祝賀会を開催

茨造協副会長の猪瀬清次氏（株植正園代表取締役社長、水戸市）が国土交通大臣賞を受賞し、これを祝し、「猪瀬清次氏国土交通大臣表彰受賞祝賀会」が10月2日、水戸市のホテルテラスザガーデン水戸で行われた。

表彰は、多年にわたる造園事業の振興に尽力したことと、公共の福祉の増進に多大な貢献を果たしたことから行われたもの。



祝賀会には、橋本昌茨城県知事をはじめ、多くの関係者が参加し、猪瀬氏の受賞をお祝いした。



第17回目を迎えた平成20年度茨造協支部対抗ソフトボール大会が9月5日、水戸市民球場で行われ、県北支部2チーム、県南支部2チーム、県

第17回 平成20年度 ソフトボール大会

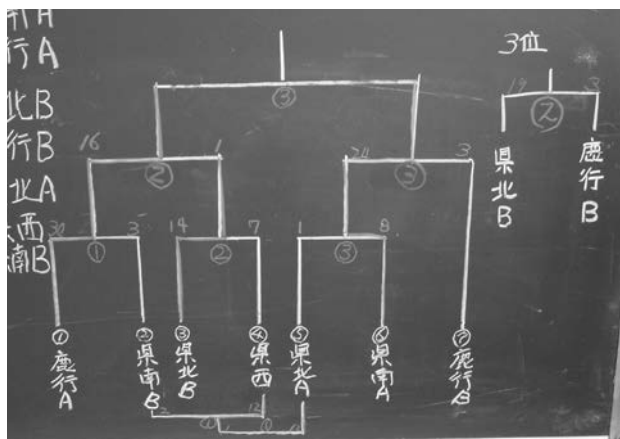
県南Aチームが優勝 準優勝に鹿行Bチーム



廣瀬会長から入賞者に記念品が手渡された

西支部1チーム、鹿行支部2チームの7チームが参加して行われた。

この結果、今回の優勝は、県南支部Aチームが獲得。準優勝が鹿行支部Aチームとなり、3位決定戦で、県北支部Bチームが鹿行支部Bチームを破り、入賞した。



平成20年度 秋都緑化

平成20年度秋季都市緑化祭は、9月1日まで、洞峰公園（つくば市）、笠間芸術の森公園（笠間市）、県西砂沼広域公園（下妻市）、国営ひまわり公園（うtsunomiya市）、偕楽園公園千波湖南側（宇都宮市）、大子広域公園（大子町）、小田原市などで開催され、緑化の大切さが伝えられるよう多様な催事が行われた。

催事には、茨造協会員も多数参加。企画催事のメニューも多彩に、市民が公園を楽しむ機会を県民に広く提供した。

また、公園におけるイベントなど、指定管理者の参考にもなるなど、市民が積極的に参加して、実施された。



堆肥配布やクラフト教室なども開催した



茨造協後援 各公園で開催 楽しみながら 緑化を推進



緑化祭会場では事前打ち合わせなども入念に行われた



公園での土との触れ合い等を楽しむ子どもたちと家族



花壇作りコーナーや芋煮会など、各コーナーとの多くの人でにぎわった



季市祭

が9月27日から11
、港公園（神栖市）、
総合公園（筑西市）、
たち海浜公園（ひた
則ふれあい広場（水
鹿島灘海浜公園（鉾
を楽しみながら感じ
。
加・協力。年々実施
なり、花や緑に触れ、
供している。
ど、公園の活用は、
準備段階から茨造協
れた。

花鉢の配布
には長蛇の
列ができた



花壇作りは多数の参加者で大人気



クラフトコー
ナーなど、広々
とした公園は多
くの人でにぎ
わった



各種講習には緑に興味を持
つ市民の方々が参加した



茨城県と災害対策協定を締結

「災害時における対策業務の応援協力に関する協定」調印式

茨造協は10月30日、県庁20階の土木部会議室で、茨城県との「災害時における対策業務の応援協力に関する協定」調印式を行った。

調印式には、茨城県から、伊藤正秀土木部長、村田正文都市局長、立藏義明公園街路課長、澤田勝企画監、事務局として、公園街路課の藤田幹雄技佐、野上邦男課長補佐、光田浩志係長、菊池信幸主任、河原井健児主事が参加。茨造協からは、廣瀬一三会長、川上一夫副会長、飛田賢一副会長、猪瀬清次副会長が出席した。

調印式は冒頭、伊藤正秀土木部長、廣瀬一三会長があいさつ。次いで、出席者紹介の後、調印となった。

協定は、大規模な災害が発生した場合、県営都市公園の緊急に対策を要する業務に対する応援協力に関するもので、9条で構成。協定に基づく応援協力は、無償による社会貢献活動であることから、県はこれを理解し、その作業に対し、十分な配慮を行うとともに、茨造協は対策業務にあたる協会員の構成、現場での作業の遂行について、迅速かつ効果的に実施できるよう努めることなどが盛り込まれた。

協定は、橋本昌茨城県知事、廣瀬一三茨造協会長名

で締結され、協定の施行に関し、県は土木部都市局公園街路課、茨造協は協会内にそれぞれ事務局を設置。有効期間は平成21年3月31日までとし、両者から協定終了の意思表示がない場合は、さらに1年間更新、その後も同様とすることなどが定められた。

近年、地球規模での自然災害が相次いでおり、国内でも、地震災害など、大規模な災害が発生しており、防災公園等の整備なども緊急を要するものとして、その推進が求められている。



協定締結の様子は各紙でも紹介された
「日本工業経済新聞」㊤と「日刊建設新聞」㊦

環境委員会が堆肥化ヤードを制作

稲敷市 桜川中学校での腐葉土づくりに県西支部会員が協力



茨造協環境委員会は、土浦市の新治中学校、神栖市の第二中学校に引き続き、9月24日、

稲敷市立桜川中学校での腐葉土づくりのための堆肥化ヤード作りと、腐葉土づくりへの協力を実施した。

堆肥化ヤードの施工前と完成後（左側上下）。制作中のようすと、協力者で記念撮影（右側上中下）



茨造協県西支部 視察研修 屋久島の巨大スギを訪ねる

県西支部は、7月17日から19日にわたり、世界遺産にも登録されている屋久島・縄文杉の視察研修を実施しました。

当初、簡単に考えていましたが、朝6時に登山開始。トロッコ列車のレールに沿って歩き始めレールの最終点に着くまで8kmの道のりでした。さらにあと3km登ると縄文杉に会える。しかし、道の無い岩と岩との隙間を登って行くような道でひざが笑いだしました。

帰りは大丈夫かな、と思いながらようやく目的地に到着。なんと11kmも歩いてしまった。ここは、標高1,300mここら辺に来ると直径2～3m程の屋久杉

があちこちにあります。岩かと思ったら上まで伸びている屋久杉です。登山中に気がついたのは、ヒメシャラが多くあり、そのヒメシャラも巨大でした。

インストラクターに聞いてみると、山は冬に雪が降り、この山自体に日本の



四季があるということです。雨が多い場所ですが、幸い雨に降られませんでした。また、山の水は豊富で飲むことができ、その水でコーヒーをいただきました。

山登りの達成感と屋久杉の大きさ、そして空気と水の豊富さに感動。人生一度は行ってみる価値は有ると思います。



参加者一同で記念撮影



技能五輪全国大会 茨造協から参加 岩崎さん・日向さん、菊地さん・菱沼さんの2ペアが健闘

第46回技能五輪全国大会が行われ、造園職種に茨造協から岩崎健四郎さん・日向健二さん、菊地憂祐さん・菱沼翔太さんの2組が参加した。

技能五輪全国大会は、中央職業能力開発協会の主催で、技能尊重の機運を高めることを目的に、国内の青年技能者の技能を競い、広く国民に技能に触れる機会を提供しようと、昭和38年から毎年開催されている。

また、大会の成績優秀者は、国際大会の日本代表選手となり、来年9月、カナダ・カルガリーで開催される「第40回技能五輪国際大会」に出場する予定になっている。

今年は千葉県を会場に10

月31日に開会し、39職種、953人の選手が参加、千葉市美浜区の幕張メッセを主会場に全11会場で、技能を競い合った。

このうち、造園職種は、(社)日本造園建設業協会、(社)日本造園組合連合会が協力し、業界全体のサポートで、平成11年から正式種目として実施。参加年齢は23歳以下で、和と洋の技法を織り交ぜた総合力を求められる課題が設定され、延べ2日間の規定時間内に課題を完成させる。また、国際大会の予選とならない年は1人、予選の年は2人1組のペアで作業を行うこととなっている。

今回の造園競技は、千葉市稲毛区の雇用・能力開発機構千葉センター「ポリテクセンター千葉」を会場に、



技能五輪全国大会の造園競技会場への案内と会場での競技内容などの説明板





13組 26人が参加した。

競技課題は、間口5m、奥行き3・5mの区画に、石材、レンガ、樹木、草花などを使用して、石積みをつくり、敷き砂の海をカナダに向けて出発するチャレンジ精神をイメージしたもの。課題は、季節の草花が植栽される石積み、石の材質や完成型が異なるため高度な技術が要求される小端積み（小口積み）があり、S字カーブの小舗石とオーストラリアレンガでつくるテラスでは、石材の加工技術が試され、小舗石の曲線とレンガの接点をいかに美しく見せるかがポイント。

そのほか、株立のシマトネリコやエゴノキ、針葉樹のエレガントシマを植栽、芝張り、石貼り、敷き砂、敷き砂利を行い、トレリスを作成した。

競技は、多くの関係者や一般来場者が見守る緊張感の漂う中、着々と進行し、それぞれ完成。入念な審査



競技中は外部との会話は許されず、寡黙に競技作品と向かい合う

が行われ、11月3日に千葉市中央区の千葉ポートアリーナで開かれた閉会式で、入賞者に表彰状の授与などが行われた。

造園職種の入賞、参加者は以下の通り。

金賞＝石井志郎さん・(有)ジープレーン、白石勇人さん・(有)若松緑地建設（福岡県）

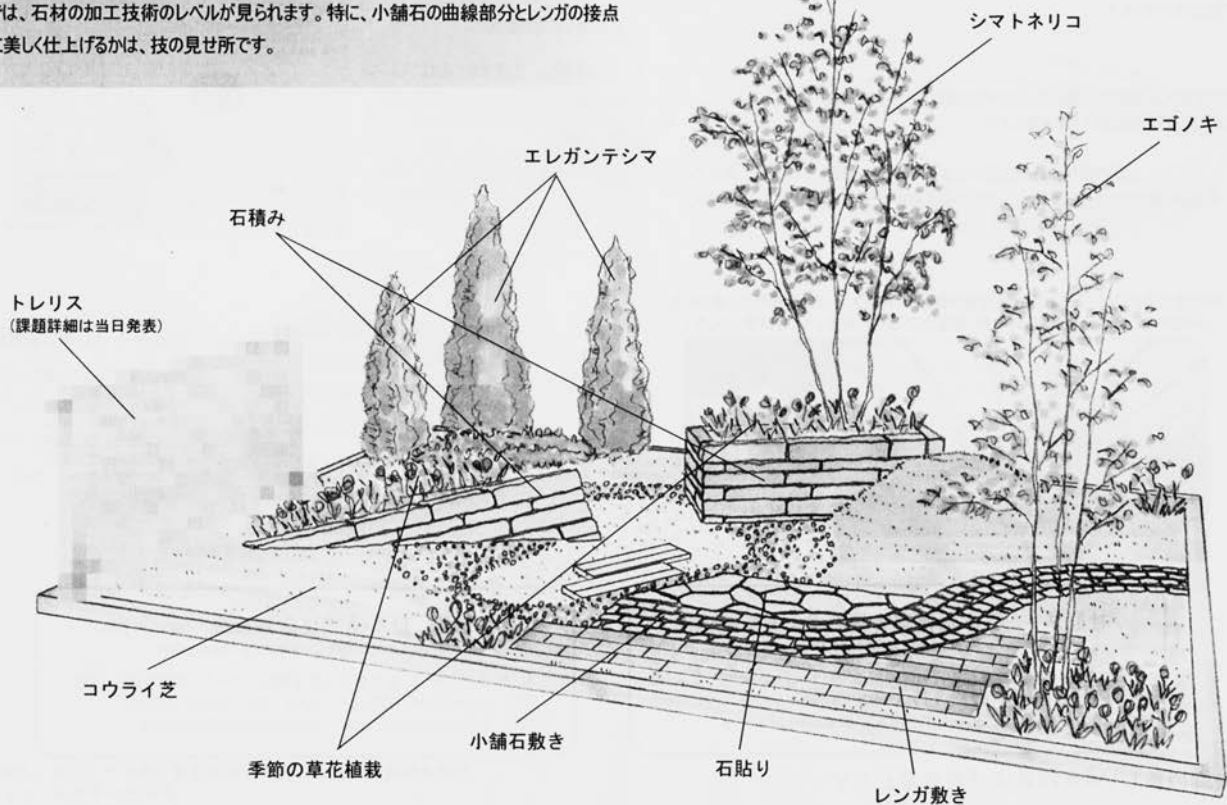


大会に備えて行われた練習の様子

造園競技

造園競技は2人一組で2日間にわたり課題をつくります。
3.5m×5.0mの区画に、石材・レンガ・樹木・草花など
を使用して庭園を作り上げます。

左右の石積みは小端積み、または小口積みと呼ばれ、石の材質や完成型が異なるため
高度な技能が要求されます。S字にカーブした小舗石の園路と、オーストラリアレンガで作る
テラスでは、石材の加工技術のレベルが見られます。特に、小舗石の曲線部分とレンガの接点
をいかに美しく仕上げるかは、技の見せ所です。



銀賞＝鈴木貴光さん・(有)春光園、白井大介さん・(株)白井造園(東京都)、同＝坪井翔治さん・山口県立宇部西高校、永野義之さん・山口県立宇部西高校(山口県)

銅賞＝藤崎賢博さん・(有)岡部造園、上利春香さん・(株)高山造庭園(山口県)、同＝池田典史さん・宮崎県造園技能士会、生方裕士さん・宮崎県造園技能士会(宮崎県)

敢闘賞＝成富勝彦さん・(株)旭日緑化建設、山川拓郎さん・(株)飛鳥緑化建設(佐賀県)、同＝小島慎吾さん・(株)花喜、折笠大さん・(株)花喜(福島県)

参加者＝▼岩崎健四郎さん、日向健二さん(社)茨城県造園建設業協会・茨城県)、▼菊地憂祐さん、菱沼翔太さん(社)茨城県造園建設業協会・茨城県)、▼谷野智音さん、山脇悠

一郎さん(京都府立農芸高校・京都府)、▼熊田一星さん・(株)高橋造園土木、小林剛さん・大阪造園土木(株)(大阪府)、▼松田大樹さん・(有)松田庭園、手嶋好樹さん・砂山庭園(大分県)、▼金城翔太さん、森根盛優さん(沖縄県立中部農林高校・沖縄県)

技能五輪 全国大会とは

青年技能者が、技能日本一を競う大会。
1963年から始まり毎年開催されています。参加年齢23歳以下。
造園は1999年(平成11年)より正式種目となりました。
造園競技では、和と洋の技法を織り交ぜた総合力を求められる
課題が設定され、延べ2日間の規定時間内に課題を完成させます。
国際大会予選の年(今回)は2人一組で、予選のない年は1人作業
で競技を行います。

今回の第46回全国大会で選ばれた選手は、2009年9月にカナダ・カルガリーで
開催される第40回技能五輪国際大会に出場します。

今回の課題にある左側の石積みは、浮き上がっている船に見立て、
敷き砂の海をカナダに向かって出向するチャレンジ精神を象徴としています。

2007年11月に行われた第39回技能五輪国際大会(静岡大会)では造園競技に参加した
15か国の中、日本代表(早乙女彰利・遠藤久美奈ペア)が金メダルを獲得しました！



社団法人 日本造園組合連合会 (略称: 造園連)
(Japan Federation of Landscape Contractors)

本 部 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-3-2 マツシビル7階
TEL 03-3293-7577 FAX 03-3293-7579
URL <http://www.jlcc.or.jp> E-MAIL jlc@sepia.ocn.ne.jp

庭園や緑の美しい4月28日は「庭の日」です。

庭師が教える ペンギン・テニシング ワンポイントアドバイス

point! 庭師のアドバイス

花を観察し、生長を楽しみながら
緑の表面が白っぽく乾いてきた状態で、
緑の裏面から水が流れ出すくらいに
たっぷりと。
花に水がかからないようにしましょう。
コンテナの隅々、溝は2週間ほど一度で
十分です。

軽量化、通気性、透水性のあるコンテナづくり！

- 軽石を入れる
- 透気シートを敷く
- 排水シートを入れる
- 軽石と土を入れる
- 排水口を詰める
- 排水口を詰める



point! 土の管理がポイント

まめに掘りど、長持ちします

花が咲き終わってしまっても、花がらを
できる限り取り除きましょう。
エネルギーを溜め、次に咲く花に
まわします。
込んできた葉っぱも取り除きましょう。
風通しよくすると、
害虫予防にもなります。

point! コンテナの排水

排水、通気をよくしましょう

幅1mもある大きなコンテナでは
重量も相当。
上の部分のように排水性、通気性のよい
素材を使いましょう。
コンテナの代わりにガーデンマットを
敷き詰める方法も。

社団法人 日本造園建設業協会 (略称: 日造協)
(Japan Landscape Contractors Association)

本 部 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-17 井門本郷ビル2階
TEL 03-5684-0011 FAX 03-5684-0012
URL <http://www.jalc.or.jp> E-MAIL info@jalc.or.jp

技能五輪造園競技は、全国の造園業者で構成する上記2団体協力し
業界全体でサポートしています。

会場で配布された「造園競技」のリーフレット

編集後記 習って慣れて、正しい知識と確かな技術、豊かな経験を生かそう

今年はじめて行われた「梅と緑のセミナーで、中村澄夫氏は、「これからの時代は、習うより慣れろではなく、習って慣れろ」だと、講演の中で語り、“正しい知識”、“確かな技術”、“豊かな経験”が、これからの時代には求められるとした。

残念なことに、事業の減少によって、「習うより慣れる」ほどの有り余るほどの事業量とはいえず、日々の業務においては触れることさえなくなってしまった伝統技術もあり、「習って慣れる」ことの方がはるかに重要な時代になった。

それだけではない。時代の変化は着々と進んでおり、最近では、出来たばかりだと思っていた「基幹技能士」が「登録基幹技能士」となり、技能士の中でも、その中核としての役割を発揮すべく位置づけられた「基幹技能士」は、さらに講習を受講しないと「登録基幹技能士」にはなれず、そのほか、「街路樹剪定士」「植栽基盤診断士」「街路樹診断士」などなど、ただでさえ、少量多工種といわれ、さまざまな知識や技術、技能が求められる造園の仕事において、これまで「造園施工管理技士」や「造園技能士」といった造園に関してはそれほど複雑ではなかった部分についても、さまざまな資格が出来、さらに造園CPD制度といった継続教育が本格的に稼動し、入札の要件などにも反映され始めていることから、「習って、慣れて」に加えて、「資格を取って、継続教育を受けて」と、造園技術・技能者はこれまで以上にさまざまな要件の習得と、持続的な学習が求められている。

社会の信頼が、食の分野をはじめ大きく揺らいでいる。建設分野でも耐震偽装などはつい最近で、いろいろな場面で、単に専門家、職人といっても信用されない。公的な資格を持ち、地道な実績を積んで、さらに、懸命に理解を求めないと、医師や弁護士などのように広く社会に認知されていない造園の仕事は、適切に理解されない。しかし、身につけた知識や技術、そして資格は、終身雇用が当たり前でなくなった時代の現在では個人の貴重な財産にもなっている。企業が社員の生活を保障し、社員が企業の伝統を守り、将来に引継ぎ、さらにこうした企業を地域が育んでいく姿が望ましいが、そうした社会を望むのは回顧的といわれかねない時代だ。だが、一方で、地域分権やさまざまな場面での安全安心が求められる時代には、こうした相互の信頼関係が何より大切な緒ではないだろうか。技能検定には、茨造協会員も協力しており、さらに来年の技能五輪は茨城で開催される。こうした機会に造園技能のPR、改めて茨造協のアピールも行いたいものである。



造園技能検定1、2級実地試験のようす

茨城県造園業協同組合

理事長 飛田 賢一 副理事長 川上 一夫 副理事長 庄司 憲生

ほか 組 合 員 一 同

事務局 水戸市白梅 2-4-6 電話 029-302-7900 FAX 029-302-7901

社 団 法 人 茨 城 県 造 園 建 設 業 協 会 会 員 名 簿

<県北支部>			<県南支部>		
	支部長 猪瀬 清次			支部長 宮本 和雄	
(有)会沢造園	水戸市渡里町 2526	029-225-0067	日比谷殖産(株)	鹿嶋市武井釜 793-1	0299-69-1762
(株)市毛造園	ひたちなか市馬渡 1285-5	029-272-1334	(株)ミドリヤ	鉾田市大蔵 233-5	0291-39-6088
岩倉緑化産業(株)	笠間市福原字トウガ峰 800-3	0296-74-4468	山中造園土木(株)	神栖市筒井 1373-1	0299-92-0251
(株)植幸	水戸市栗崎町 1682	029-240-5008	豊造園(株)	神栖市筒井 1213	0299-92-2566
(株)植正園	水戸市常磐町 1-1-40	029-224-8766	(株)和鹿公園建設	神栖市太田 456-15	0479-46-0033
(株)海野ガーデン	ひたちなか市中根 5072	029-273-6013			
(有)エバタ造園	水戸市上国井町 1594	029-239-6322	(株)浅野造園土木	つくば市作谷 2715	029-869-1118(代)
(株)大平造園土木	笠間市鯉淵 6241-42	0296-77-3021	(有)荒井緑化土木	つくば市篠崎 231-1	029-864-0825
(株)小田緑地建設	水戸市見川町字釜場 2530-5	029-305-1234	(有)飯塚農園	つくば市上里 390	029-847-0662
(株)神永造園	ひたちなか市足崎 1287	029-285-0246	(株)市川造園	つくば市今鹿島 103	029-847-2554
(株)鴨志田造園建設	水戸市青柳町 3814-2	029-225-6052	茨城県南造園土木(業)	土浦市田中 3-2-1	029-822-3771
(有)川崎造園	ひたちなか市田彦 632-1	029-272-0571	(株)茨城光松園	取手市桑原 597	0297-73-2231
環境保全事業(株)	那珂郡東海村村松 1033-1	029-282-8855	(株)浮間興業	つくば市片田 343	029-837-1603(代)
興和緑地建設(株)	水戸市白梅 1-3-23 興和ビル	029-225-6187	オガ建設(株)	土浦市乙戸南 3-8-13	029-830-4300
(株)小澤造園	水戸市水上戸 1-4-38	029-224-7733	(株)オキヤマ	つくば市要 109	029-864-0444
(株)小林造園	水戸市小吹町 2054-2	029-241-7587	(株)貝沢造園土木	つくば市谷田部 3524-2	029-837-0222
(有)小林農園	日立市折笠町 719	0294-43-5193	(有)櫻村造園土木	石岡市若宮 2-6-15	0299-22-6867
(株)三陽造園土木	東茨城郡城里町小勝 718-2	0296-70-6061	(株)川上農場	つくばみらい市小張 4041	0297-58-6518
(株)信濃造園土木	ひたちなか市西大島 1-1-30	029-273-2756	菊地植木建設(株)	取手市桑原 1104	0297-73-3241
(有)十文字造園	ひたちなか市佐和 1468	029-285-0879	(株)近代造園さくらい	取手市井野台 1-4-7	0297-73-4187(代)
(株)松風園	ひたちなか市長砂 625-2	029-285-3210	(株)小久保造園土木	つくば市小田 2830	029-867-3399
昭和造園土木(株)	笠間市笠間 4358-2	0296-72-5104	(有)古平園	つくば市蓮沼 10	029-864-0777
(有)植心園	那珂市本米崎 2702	029-298-1498	小林造園土木(有)	石岡市小幡 295-1	0299-42-3313
(有)鈴木グリーン企画	水戸市小吹町 1555-9	029-244-2700	(株)坂田園芸	土浦市上坂田 610	029-862-2431
(有)鈴木緑化サービス	水戸市萱場町 747-2	029-253-3910	佐藤造園土木(有)	つくば市南中妻 750	029-836-0225
(株)砂押園芸	ひたちなか市高野 48	029-285-0233	(株)芝良	つくば市作谷 3438-7	029-869-0311
(有)成樹園	水戸市平須町 1846	029-241-0238	スズキ造園土木(株)	つくば市寺具 1011-1	029-869-0500
(株)石翠園	水戸市平須町 2-97	029-241-0404	第一造園土木(株)	土浦市大岩田 534	029-821-3708(代)
(株)千本杉	那珂市菅谷 605-21	029-298-0575	大成造園土木(株)	土浦市西並木 3600	029-822-2311
(株)大京園	水戸市姫子 1-41-1	029-253-0615	(株)千代田	かすみがうら市横堀 287	0299-59-4068
(株)大子造園土木	久慈郡大子町矢田 910-1	0295-72-0001	つくば都市緑化(株)	つくば市下別府 489-81	029-847-6439
(株)田寺緑地土木	水戸市吉沼町 965	029-227-3388	土浦造園(株)	土浦市佐野子 1061-1	029-821-3585(代)
(株)田中造園土木	笠間市箱田 1167-1	0296-72-1027	遠野緑地建設(株)	つくば市東光台 1-19-4	029-847-5282
(株)タナカ築庭	水戸市石川町 2-4074-8	029-253-4128	常盤造園建設(株)	取手市駒場 4-5-22	0297-73-0551
常盤造園(株)	水戸市酒門町 3218-1	029-248-0081	(株)トヨシマ総合建設	つくば市上横場 2157-1	029-836-5959
(株)都市緑地サービス	ひたちなか市中根 3646-6	029-273-7662	(株)直井造園土木	つくばみらい市日川 571	0297-52-2600
(株)中庭造園土木	那珂市横堀 660	029-298-3291	(株)野堀造園土木	つくば市遠東 254-1	029-847-3678
(株)日本造園	水戸市見川 5-1251-63	029-229-8840	橋本造園土木(株)	つくば市大角豆 2012-36	029-851-2547
(株)沼田緑化園	水戸市笠原町 1691-2	029-243-0123	ヒタチ緑化(株)	つくばみらい市市戸 103	0297-52-3251
(株)橋本農園	那珂郡東海村豊岡 466	029-282-2388	不二造園土木(株)	土浦市佐野子 655	029-821-5438
(資) 幡弁商店緑化部	小美玉市小川 1488	0299-58-2002(代)	(有)モリタグリーン工業	牛久市牛久町 3318-8	029-872-0336
飛竜造園(株)	那珂市堤 302	029-298-7945	吉沼造園土木(株)	つくば市吉沼 2000	029-865-0177
(株)水庭農園	日立市本宮町 5-8-6	0294-24-3228	緑化植産(株)	つくば市若栗 913	029-876-0606
(株)水戸グリーンサービス	水戸市堀町 959	029-225-2754	(株)若倉	つくば市島名 652	029-847-7397
水戸緑地建設(株)	水戸市元吉田町 1852-86	029-248-8700	<県西支部>		
(株)宮嶋造園土木	東茨城郡茨城町小幡 68-56	029-292-5787		支部長 山口 喜弘	
(有)望月造園	東茨城郡茨城町駒場 1802	029-292-2752	(有)アイタ	下妻市半谷 430-42	0296-44-5296
(有)山喜園	高萩市下手綱 1485	0293-23-6935	(有)飯村造園土木	筑西市小川 1724-1	0296-28-0008
(株)吉沢緑化造園	日立市水木町 2-21-12	0294-52-0712	稲芝造園建設(株)	筑西市新治 2003-88	0296-57-2045
緑地企画(株)	水戸市平須町字原山 158-187	029-243-7700	(株)岩井造園土木	坂東市大口 2052-1	0297-39-2547
(株)緑建	水戸市堀町 112-3	029-254-8441	(株)川上造園土木	古河市東山田 1924	0280-78-1312
(株)和香園	ひたちなか市佐和 1735	029-285-0306	(有)小竹農園	下妻市五箇 201	0296-43-4622
<鹿行支部>			(株)下館造園	筑西市玉戸 1013-39	0296-28-0069
安藤造園(株)	神栖市矢田部 5806	0479-48-0059	常緑工業(株)	常総市中妻町 5192	0297-22-7106
(株)大賀志造園土木	神栖市石神 439	0299-92-1695	(株)成美造園	常総市豊岡町乙 1234-18	0297-27-2281
大塚造園建設(株)	神栖市筒井 1262-2	0299-92-0530	(株)関城造園	筑西市関本肥土 362	0296-37-3195
大根造園土木	神栖市土合西 2-1-8	0479-48-3678	塚田造園建設(株)	桜川市真壁町源法寺 704	0296-55-1587
(株)鹿島ガーデン	鹿嶋市宮中 6-6-9	0299-83-3111(代)	つくばクリーン産業(株)	下妻市北大宝 257-1	0296-44-2004
鹿島花壇土木(株)	神栖市柳川 1707	0479-46-0044	中嶋産業(株)	結城市小田林 1424	0296-32-8282(代)
鹿島庭園(株)	鹿嶋市宮中 1992-1	0299-82-2045	(有)中田造園	下妻市北大宝 460-2	0296-44-5432
(株)水郷園建設	行方市四鹿 207-1	0299-73-2006	(有)中山造園土木	坂東市辺田 955	0297-35-0644
(株)辻田造園建設	鹿嶋市下塙 886-3	0299-82-9097	山口造園(株)	筑西市倉持 629	0296-52-2350
(株)富山園建設	鹿嶋市大船津 2223	0299-82-0516	(有)吉原グリーン	下妻市高道祖 2635	0296-43-7122
			(株)ワイエスケイ	筑西市乙 836	0296-25-0005